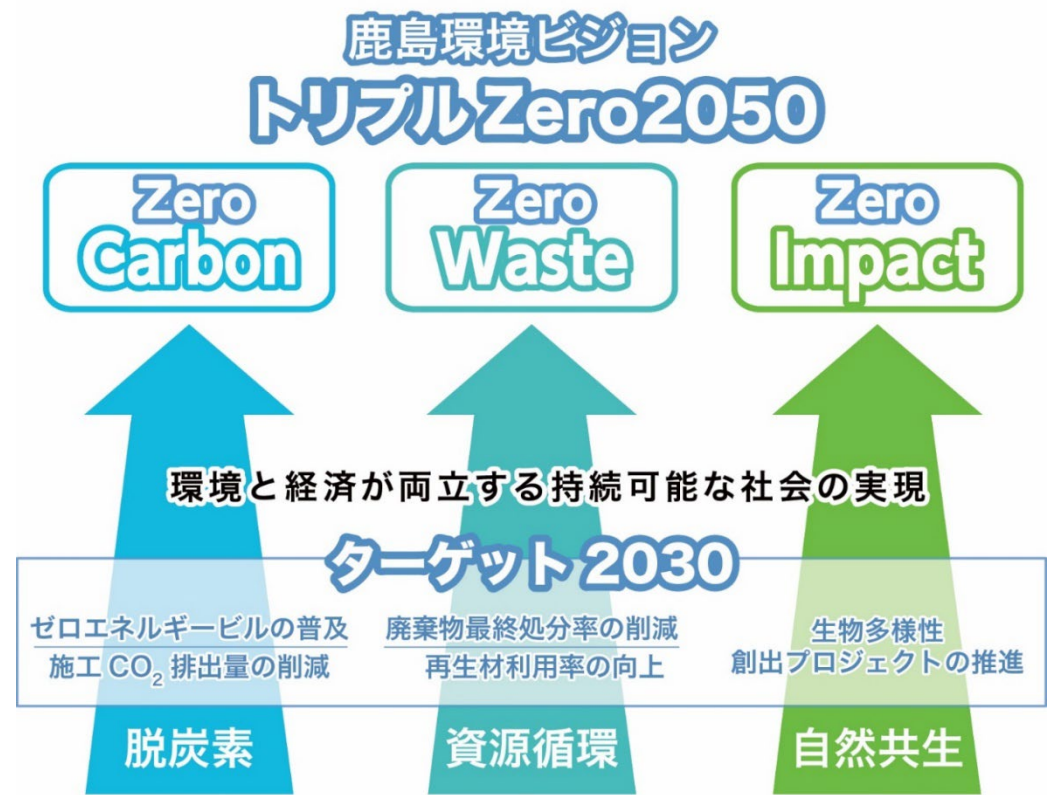


鹿島は2050年カーボンニュートラルの実現に挑戦します

鹿島は2013年に掲げた「鹿島環境ビジョン:トリプルZero2050」を2021年5月に見直しました。新たなCO₂排出量削減目標として、2013年度比で2030年度に50%削減、2050年度にはカーボンニュートラル(100%削減)を設定しました。

CO₂排出量の削減計画では、現場から排出されるCO₂の削減と、カーボン・オフセットの2つの取組みにより、事業規模を拡大させつつ2050年のカーボンニュートラルの実現を目指します。また、2023年度中のSBT (Science Based Targets、温室効果ガス削減目標に関する国際認証)取得を目指します。



水素の製造・供給事業を始めました

鹿島は鹿追町(北海道河東郡)において、エア・ウォーター北海道(株)との共同出資により、水素を製造・供給する「(株)しかおい水素ファーム」を2022年2月に設立、4月から事業を開始しました。

鹿追町環境保全センター内のバイオガスプラントからメタン発酵により生成されたバイオガスの供給を受けて水素を製造します。家畜ふん尿を由来とする水素の製造・供給は、国内初で、現在は唯一の事例です。

【設備概要】

水素製造設備 能力:約70Nm³/h、年間最大製造量 約50万Nm³
 水素出荷設備 圧力:19.6MPa
 水素ステーション 圧力: 70MPa 燃料電池自動車用ディスペンサー
 35MPa 燃料電池フォークリフト用ディスペンサー
 ※ 燃料電池バス、トラックにも対応可能

株式会社しかおい水素ファーム

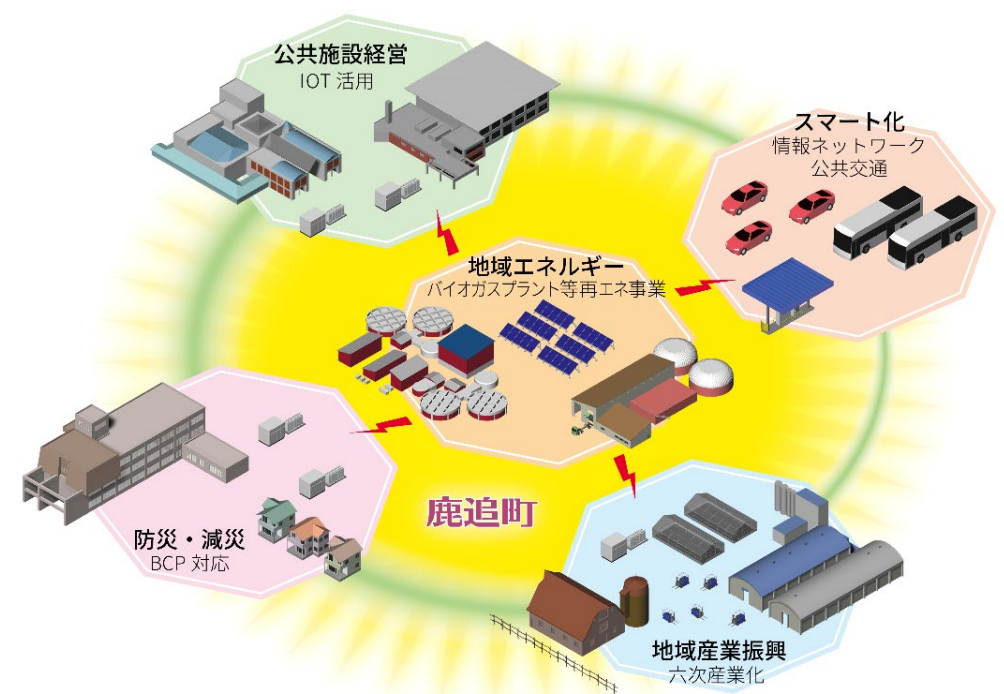


▲しかおい水素ファームの水素製造設備／水素ステーション

鹿追町が脱炭素先行地域に選ばれました

鹿追町は、環境省が進めている脱炭素先行地域に選定されました。町内をゾーニングし、それぞれの特長を活かしたエネルギーの循環を図り、地方創生のモデルを目指しています。

鹿島は鹿追町とスマートソサエティ公民連携協定を結んでおり、カーボンニュートラルへの対応など、まちづくりを鹿追町と一緒に検討しています。



▲バイオガスプラント等の地域の再生可能エネルギー供給を起点とした鹿追町地域スマートソサエティ概念図